

複雑に組み合わせられた「文字」列たちは、どこまでも増殖し

16Q 特大明朝体／字間ツメ 行間22H送り 変幻し、まさに無限の様相を呈している。

12Q 中明朝体／行間20H送り

わが国最初の勅撰和歌集『古今集』の編者である紀貫之は、その「仮名序」で言っています。「やまと歌は、ひとの心を種として、よろづの言の葉とぞなれりける」。和歌の種子は「人の心」であり、それは外界の変化に誘われて、万の「言の葉」すなわち歌となって現われ出る、というわけです。当時から千年以上を隔てた現在、文学表現の中心は「和歌」ではなくなりましたが、その本質である「人の心」と「言の葉」との関係は少しも変わりません。たとえば今、名作アンソロジーとわが国最初の勅撰和歌集『古今集』の編者である紀貫之は、その「仮名序」で言っています。「やまと歌は、ひとの心を種として、よろづの言の葉とぞなれりける」。和歌の種子は「人の心」であり、それは外界の変化に誘われて、万の「言の葉」すなわち歌となって現われ出る、というわけです。当時から千年以上を隔てた現在、文学表現の中心は「和歌」ではなくなりましたが、その本質である「人の心」と「言の葉」との関係は少しも変わりません。たとえば今、名作アンソロジーと

12Q 細明朝体／行間20H送り

わが国最初の勅撰和歌集『古今集』の編者である紀貫之は、その「仮名序」で言っています。「やまと歌は、ひとの心を種として、よろづの言の葉とぞなれりける」。和歌の種子は「人の心」であり、それは外界の変化に誘われて、万の「言の葉」すなわち歌となって現われ出る、というわけです。当時から千年以上を隔てた現在、文学表現の中心は「和歌」ではなくなりましたが、その本質である「人の心」と「言の葉」との関係は少しも変わりません。たとえば今、名作アンソロジーと

14Q 特大明朝体／字間ツメ+4分アキ

こころ揺れて、言の葉そよぐ

わが国最初の勅撰和歌集『古今集』の編者である紀貫之は、その「仮名序」で言っています。「やまと歌は、ひとの心を種として、よろづの言の葉とぞなれりける」。和歌の種子は「人の心」であり、それは外界の変化に誘われて、万の「言の葉」すなわち歌となって現われ出る、というわけです。当時から千年以上を隔てた現在、文学表現の中心は「和歌」ではなくなりましたが、

12Q 中細明朝体／行間20H送り

千変万化する日本語の豊かさと広がりを目の当たりにして、あらためて私たちの胸中には、先の貫之の言葉がこだまするのを感じます。

9Q 細明朝体／行間14H送り

千変万化する

日本語の豊かさと広がり

わが国最初の勅撰和歌集『古今集』の編者である紀貫之は、その「仮名序」で言っています。「やまと歌は、ひとの心を種として、よろづの言の葉とぞなれりける」。和歌の種子は「人の心」であり、それは外界の変化に誘われて、万の「言の葉」すなわち歌となって現われ出る、というわけです。当時から千年以上を隔てた現在、文学表現の中心は「和歌」ではなくなりましたが、

12Q 中細明朝体 行間20H送り

40Q 特大明朝体 字間ツメ／行間44H送り

あはれ知る。

こころ揺れて、言の葉そよぐ。

12Q 中明朝体／行間20H送り

わが国最初の勅撰和歌集『古今集』の編者である紀貫之は、その「仮名序」で言っています。「やまと歌は、ひとの心を種として、よろづの言の葉とぞなれりける」。和歌の種子は「人の心」であり、それは外界の変化に誘われて、万の「言の葉」すなわち歌となって現われ出る、というわけです。当時から千年以上を隔てた現在、文学表現の中心は「和歌」ではなくなりましたが、その本質である「人の心」と「言の葉」との関係は少しも変わりません。たとえば今、名作アンソロジーといった類の撰集を開いてみると、そこには実に多彩な現代文の形がサンプリングされています。

12Q 細明朝体／行間20H送り

わが国最初の勅撰和歌集『古今集』の編者である紀貫之は、その「仮名序」で言っています。「やまと歌は、ひとの心を種として、よろづの言の葉とぞなれりける」。和歌の種子は「人の心」であり、それは外界の変化に誘われて、万の「言の葉」すなわち歌となって現われ出る、というわけです。当時から千年以上を隔てた現在、文学表現の中心は「和歌」ではなくなりましたが、その本質である「人の心」と「言の葉」との関係は少しも変わりません。たとえば今、名作アンソロジーといった類

90Q 特大明朝体 字間ツメ

9Q 細明朝体／行間14H送り

千変万化する日本語の豊かさと広がりを目の当たりにして、あらためて私たちの胸中には、先の貫之の言葉がこだまするのを感じます。

58Q 特大明朝体／字間ツメ

和歌の種子は「人の心」であり、それは外界の変化に誘われて、万の「言の葉」すなわち歌となって現われ出る。千年以上を隔てた現在も、その関係は少しも変わらない。

20Q 特大明朝体／字間ツメ／行間29H送り